

3
令和3年

心の生涯学習誌
れいろう



〈れいろうカレッジ〉 今月のテーマ

幸せ「夫婦」の小さな工夫

北村順子

モラロジー研究所 生涯学習講師

武田双雲

書道家

〈おうちで楽しむ和の行事〉

かんたん! 牡丹餅の作り方

〈ほくらの未来スケッチ〉

25年保存できる備蓄食



「メンが食える大人に育てる」でおなじみ「花まる学習会」の講師たちが、親と子のおうち時間を幸せで豊かにするヒントをお届けします。

お母さんの抱っこが

親子の不安を吹き飛ばす！

抱っこの宿題

ある日、小学三年生のYくんは、担任の先生から宿題を出されました。その宿題とは、なんと「おうちの人に抱っこしてもらいましょう」というもの。これは、絵本作家・いもとようこさんの『しゅくだい』という絵本に出てくる宿題と同じです。

抱っこをせがまなくなって久しいYくん。でも、その日は「宿題だからね」と言いながらも、妙にうれしそうにお母さんの胸に飛び込んできたそうです。

それからというもの、その宿題は連日出されました。最初こそ戸惑っていたお母さんも、なんだか幸せな気持ちになり、ある日の学校の面談で、担任の先生にお礼を伝えました。

「Yは、先生が毎日出してくださる『抱っこ』の宿題が、本当にうれいようです。私もしばらく忘れていた『抱っこ』の幸せを思い出すきっかけになりました。ありがとうございます」

すると、先生からは意外な言葉が返ってきました。「あ、あの宿題ですね。でも毎



花まる学習会 教室長
樋口雅人

昭和46(1971)年、岡山県生まれ。花まる学習会の創成期から、教室長として「現場第一主義」の姿勢を崩すことなく子どもたちと向き合い続けている。「花まる学習会という特殊空間の中で、世界中の誰よりも子どもたちと時を同じくしてきたからには、世界中の誰よりも心の『どこか』が磨かれているはず」という強烈な自負を振り所に、「子どもたちから与えてもらった、無尽蔵のエネルギーと幸せを世の中に還元していくこと」がライフワーク。

日ですか？ 私が出したのはあの日
の一回きりなんですけれどね(笑)。
ここでお母さんは合点がいきま

た。——三年生にもなって抱っこを
せがむのは恥ずかしいなあ。でも、
まだまだお母さんの温もりを包ま
れていた日もある……。『宿題』
ということにしてしまえば、堂々と
抱っこをお願いできる。よし、
毎日出されている宿題ってことに
しちゃえ——

Yくんは、そう考えたに違いあ
りません。

お母さんは、そんなわが子をな
んだかかわいく思ったそうで、「実
は毎日の宿題ではなかった」こと
には一切言及せず、今も「宿題だ
からね」と、毎日胸に飛び込ん
でくるYくんを、ギューッと抱き
しめているそうです。

Yくんが学校生活特有のプレッ
シャーから解放されてくることに
なれば、この「宿題」も自然と終
わりを迎えるでしょう。おそらく
は、あともう少しだけ……。

大好きだからこそ

「抱っこ」に代表されるスキンシッ
プの重要性は、今や子育ての一般
常識といっても過言ではありません。
ん。しかも、それは小学生になっ
てもまだまだ必要です。「お母さん
の温かさが恋しいけれど、抱っこ
してなんて、恥ずかしくて言えな
い」。小学生の本音を代弁すると、
そのようなところでしょう。

特に昨年から環境が激変し、
今までの「当たり前」が当たり前
ではなくなりました。言うに言え
ない不安やうつぶんを抱えている
子ども少なくありません。「何かあつ
たらお母さんに言ってね」とは言
われるけれど、大好きなお母さん
だからこそ「格好悪いところは見
せられない」「心配をかけたくない」
と考えて、我慢してしまうのも小
学生ならではの成長の証です。
子どもが我慢をしていそうなど
きは、何も言わずにギューッと抱
きしめてあげるだけで、「光」が差
すことも多いものです。

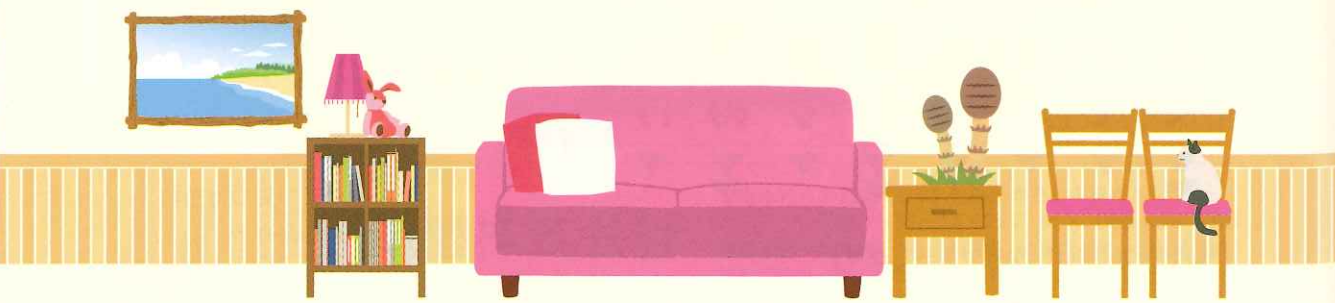
触れ合う温かさは 理屈を超えて

生命体が地球に誕生して四十億
年。「脳」という器官ができたのは
わずか五億年前。それまでの三十
五億年という膨大な時間は、生命
体の最外層、人間でいうところの
「皮膚」が、その役割を果たしてい
たというのです。

人間の赤ちゃんは、視覚も聴覚
も不完全な状態ながら、「触覚」だ
けは完成された状態でこの世に生
を受けます。

やがて、老いとともにさまざま
な器官の能力が失われていきます。
しかし、最後まで健全な状態で残
るのが「触覚」だといわれています。
す。触覚が、人間にとってどれだ
け大切な感覚であるかということ
です。

そんな「皮膚感覚」がもたらす、
理屈を超えた「温かさ」は、与え
るほうにも与えられるほうにも、
忘れていた根源的な喜びを思い出
させてくれることでしょう。





問題提供=風間翔平 (花まる学習会・スクールFC)

「上ボタン? 下ボタン?」

Q

□の中の文字を上ボタン(▲)か下ボタン(▼)で五十音表の縦の列で動かし、言葉を完成させましょう。
▲▼は1段、▲▲▼▼は2段動かします。
ただし、ボタンは「すべて▲」か「すべて▼」のどちらかしか選ばません。

(例)

ゆ ま な か すべて▲
すべて▼

答え やまねこ

レベル 1

ス ア カ すべて▲
すべて▼

レベル 2

し ん せ う すべて▲
すべて▼

レベル 10

エ ィ ィ ア リン すべて▲
すべて▼

レベル 50

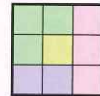
る お す い け すべて▲▲
すべて▼▼

レベル 100

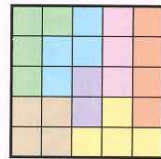
く て め ほ け す ぬ け すべて▲▲
すべて▼▼

2月号の解答例

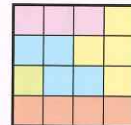
レベル1



レベル2



レベル3



ほかにも、たくさん
のしまい方が
あります。
いくつみつけられ
ましたか?

今月号の解答は、次号で発表します。